

ナブコ自動ドア

バリアフリースイッチ
押しボタンスイッチ HDS-A5

トイレ空間への調和と使いやすさを両立した、
パブリックトイレのユニバーサルデザインスイッチ

NEW



わかりやすさも、
使いやすさも、
さらに優しくなりました

 GOOD
DESIGN非接触で操作可能
(非接触タイプ)

JIS A 4722 : 2022対応

優しさをカタチにしました

どんな人にも使いやすいユニバーサル設計です

👁️ わかりやすさ

光と音声により次に押すボタンを案内

- 次に操作するボタンが光ります
操作するボタンに悩む必要がなく、利用者をやさしくアシストします。※「操作イメージ」参照
トイレを使用中の場合のみ文字を表示し、使用状況を分かりやすくお知らせします。
- ドアの動作状況に応じた音声ガイド
音声ガイドは4か国語に対応 **オプション**
[日本語/英語/中国語/韓国語]から複数数を同時に設定できます。



使用していない場合
(表示なし)

使用中の場合
(トイレ内は「施設中」表示)

視覚障がい者への配慮

- 低視力者を想定した文字フォントやレイアウト
- 触覚でも認知しやすい工夫
目の不自由な方が触覚で認知しやすいように、ボタン部を周辺より突起させ、触知性の高い凸記号(矢印)と点字を表示しました。
- 赤緑色覚障がいに対する視認性を向上
押しボタンは色覚障がい者にも識別しやすい白と黒の組合せとしました。



👋 使いやすさ

おからだの不自由な方、高齢者への配慮

「押しやすさ」を追求し、直径70mmの大径ボタンを採用しました。力の弱い方でも、わずかな力で確実にボタンを押すことができます。



手をかざすだけ 非接触で操作できる

- 「あける」「しめる」ボタンに手をかざすことで、非接触で開閉することができます。
- 手かざし(非接触)操作、押しボタン操作のどちらでも開閉可能です。



※押しボタン操作のみのタイプもございます。

Design

専門家のアドバイスを製品に反映し、様々な角度からユニバーサルデザインを検証、あらゆる方の使い勝手に配慮した「使う人を選ばない」トイレスイッチです。

〈原寸大〉



一瞬で判断しやすい
ひらがな表記に変更

「あける」「しめる」の表記にすることで、開閉どちらのボタンかがわかりやすくなりました。

非接触(手かざし)でも
操作可能

衛生面に配慮した非接触タイプは、手かざしで操作可能です。一方で手かざしが難しい人には、ボタンを押して操作いただくことも可能です。

スイッチ向き横型

お客様のご要望に応じて、ボタン配置は横型にも対応可能となります。

わずかな力でも
押しやすい大きさ

操作しやすい大型の押しボタンです。表面が大きいため触れやすく、わずかな力で押すことができます。

JIS A 4722 : 2022対応

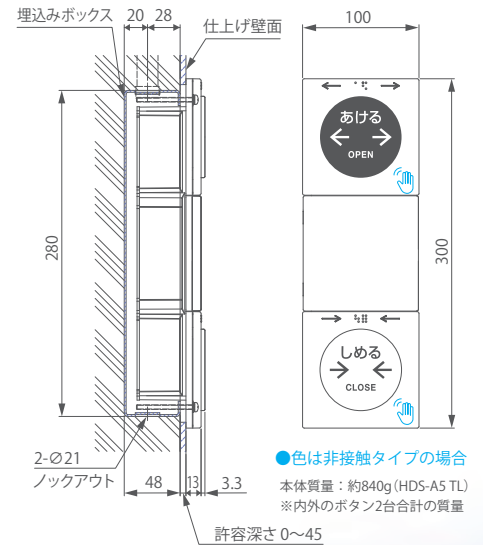
商品の概要

	非接触タイプ	押しボタンタイプ	
型式・名称	HDS-A5 TL 押しボタンスイッチ 非接触タイプ	HDS-A5 音声案内なし(ブザーあり)	HDS-A5 S 音声案内あり
電源・消費電流 (内外2台合計)	DC12V 690mA以下	DC12V 630mA以下	DC12V 670mA以下
検知方式	静電容量方式(手かざし操作時) 加圧検知方式(押しボタン操作時)	加圧検知方式	
操作方法	手かざし操作(非接触) 押しボタン操作(どちらでも操作可能)	押しボタン操作	
操作力	不要(手かざし操作時) 約5N(押しボタン操作時)	約5N	
表示灯	白色LEDによる状態表示(使用時:点灯、未使用時:消灯)		
操作案内	ボタンの光でアシスト 非接触操作時のアンサーバック (LED点滅)	ボタンの光でアシスト (音声案内なし/ブザーあり)	ボタンの光でアシスト (音声案内あり)
	内蔵スピーカーからの 音声でアシスト ※4か国語に対応(オプション)		
標準取付方法	壁面埋込み		
ボタン配置	縦型または横型		
材質	本体:ABS 埋込ボックス:スチール(黒色塗装)		
備考	抗菌塗装(押しボタン部)		

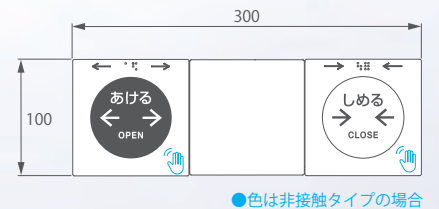


外形図 (mm)

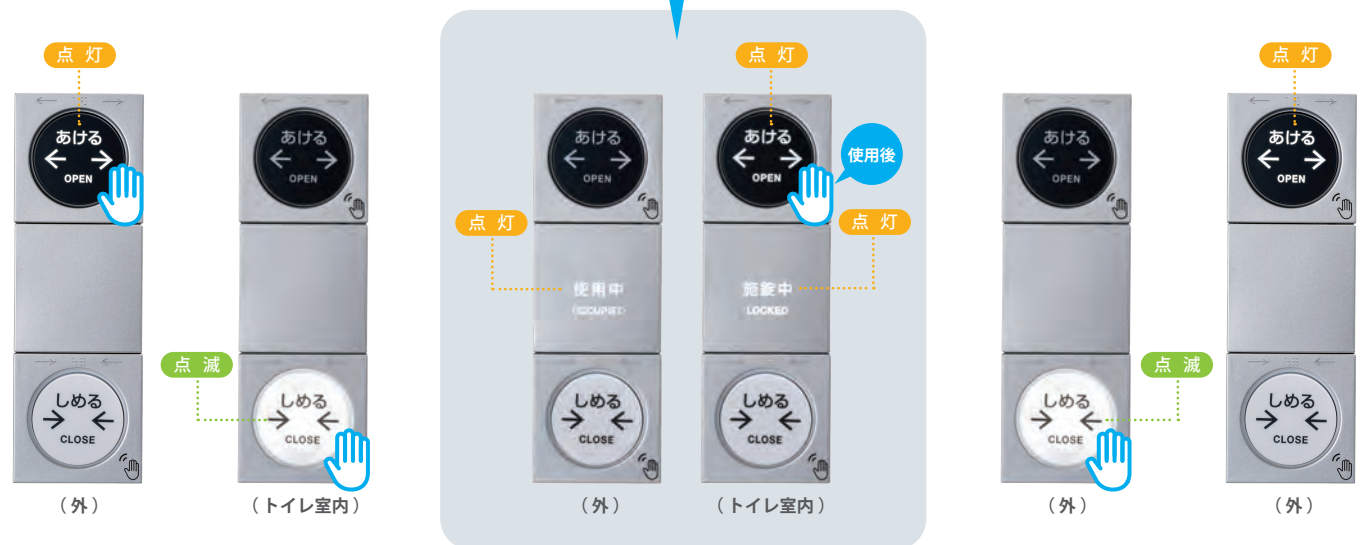
【縦型配置】



【横型配置】



操作イメージ ※光と音声により次に 押す/手をかざす ボタンを案内します



①空室時は「あけるボタン」が点灯。押して/手かざして入室。

②入室すると「しめるボタン」が点滅。押して/手かざして施錠。

③使用中はトイレ室内では【施錠中】が点灯し、外側では【使用中】が点灯します。使用後は「あけるボタン」を押して/手かざして退室。

④退室すると「しめるボタン」が点滅。押して/手かざしてドアを閉める。

⑤再び待機モードになります。

【補足情報】

バリアフリートイレ用自動ドアの安全対策

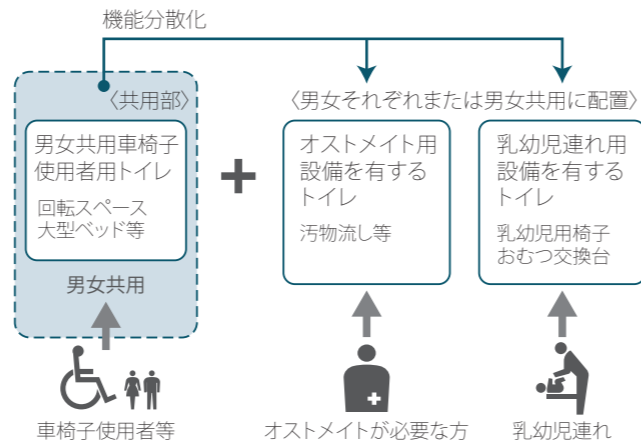


「バリアフリートイレ」とは？

「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」が2021年に改正され、設計の考え方が見直され、高齢者、体の不自由な方等が利用する各種トイレを『高齢者障害者等用便房（バリアフリートイレ）』と総称することになりました。

これまでの「多機能トイレ」「多目的トイレ」は、各種機能が1便房に集約された設計で、利用者が集中し、本来の対象者が利用できない事態が発生していました。

個別機能を備えたトイレの設置、利用対象者や機能が分かるような表示をする基本方針が示されました。

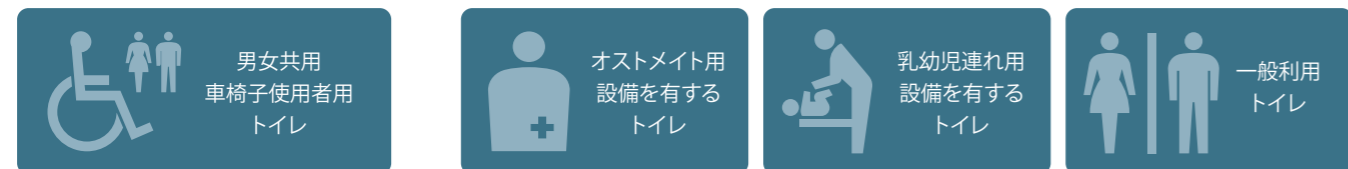


※「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準 令和3年3月」の2-112頁の図をもとに作成

JIS A 4722:2022

バリアフリートイレ用自動ドアに関する要求事項が追加

2022年9月に改正されたJIS A 4722:2022では、「車椅子使用者用便房用自動ドアセット」及び「一般便房用自動ドアセット」の個別要求事項が新たに規定されました。



「車椅子使用者用便房用自動ドアセット」の個別要求事項を規定

「一般便房用自動ドアセット」の個別要求事項を規定

※車椅子使用者用トイレより狭めのトイレ個室

HDS-A5 押しボタンスイッチ

バリアフリートイレ自動ドア用

トイレ空間への調和と使いやすさを両立した、パブリックトイレのユニバーサルデザインスイッチ

車椅子使用者用トイレの自動ドアの安全対策ポイント

JIS A 4722:2022で規定されている「車椅子使用者用便房用自動ドアセット」の個別要求事項の一部をご紹介します。

開作動に対する保護方策

開くドアによる挟まれや衝突を防ぐために、戸尻の領域にドアの前8mm以下、または25mm以上100mm以下の距離に位置するガードスクリーンまたは防護柵を設置することを基本としています。

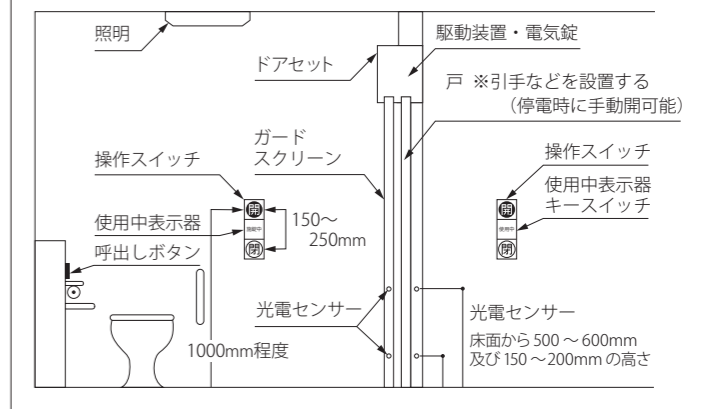
閉作動に対する保護方策

閉じるドアによる押しつぶしや衝撃を防ぐために、検知保護装置を設置することが基本となります。検知保護装置として、光電センサーを使用する場合は、垂直方向に少なくとも2つ設置し、それぞれ床面から500mm～600mm及び150mm～200mmの高さに設置します。

【自動ドアセットを備える車椅子使用者用便房の例】

(「JIS A 4722:2022」の図 0.1 をもとに作成)

縦断面図

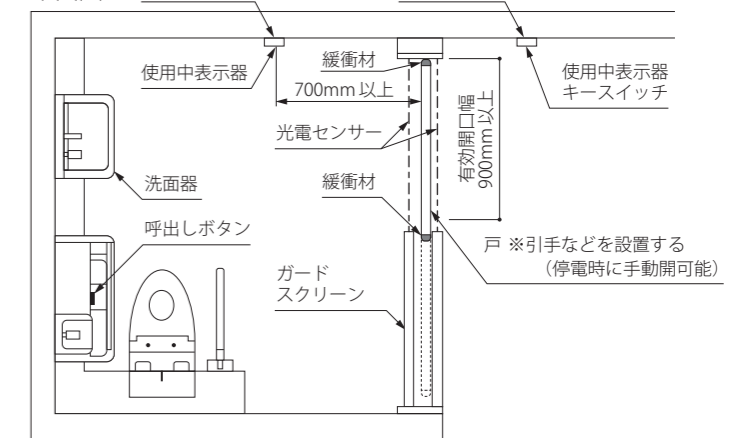


外部からの救出手段

緊急時に、トイレが「使用中」の状態であっても、管理者などが内部の利用者を外部から救出できるように、トイレの外部に、自動ドアを開くことが可能となる、または手動操作で開くことができる手段を備えなければなりません。NABCOのバリアフリートイレ用自動ドアセットはキースイッチを備えており、この要求事項に対応しています。

※要求事項は他にもあります。詳細はNABCOの販売会社にお問い合わせください

平面図



Nabtesco

ナブテスコ株式会社 住環境カンパニー

〒102-0093
東京都千代田区平河町
2丁目7番9号 (JA共済ビル)
TEL (03) 5213-1156



ISO9001・ISO14001 認証取得

<https://nabco.nabtesco.com/>



お求め・お問い合わせは NABCO の正規販売会社へご連絡ください。

最新の販売店情報は
こちらでご確認ください。

NABCO ネットワーク一覧
<https://nabco.nabtesco.com/support/network/>



●弊社製品は改良などのためカタログと相違する場合がございます。また、掲載製品は予告なく販売を終了することがありますので予めご了承ください。